

表1 野菜の主な褐斑病・斑点病とその生態

病原菌	病害名	発育適温	第一次伝染源	病徴	発生しやすい条件
<i>Corynespora cassiicola</i>	キュウリ褐斑病	28°C前後	被害植物、生産資材、種子	初め、葉に淡褐色、円形の小斑点、後、直径5～10mmで中央が灰褐色、不整形の斑点	高温多湿、ハウス栽培
<i>Corynespora cassiicola</i>	メロン褐斑病	30°C前後	被害植物	初め、葉に淡褐色、円形で境界が明瞭な小斑点、後、拡大して直径10～30mmの斑点となる	高温多湿
<i>Cercospora citrullina</i>	スイカ斑点病	25～30°C	被害植物	初め、葉に小円形水浸状の褐色斑点、後、茶褐色～淡褐色、中央が灰白色、健全部との境目が水浸状になる	高温多湿、過繁茂
<i>Cercospora beticola</i>	ホウレンソウ褐斑病	25～30°C	被害植物	初め葉表面に黄褐色の斑点、後、周囲がやや褐色で明瞭な円形から楕円形の病斑となって、中央部が淡黄色～白色	高温多湿
<i>Cercospora malayensis</i>	オクラ褐斑病	25～30°C	被害植物	初め葉に褐色小斑点、後、黒褐色～褐色の円形ないし不整形の大型病斑	高温多湿

※病原菌の生態・諸性質は、日本植物病害大事典（岸 国平）を引用・一部改変した。